

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	ほ場整備事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	03活力とにぎわいのあるまち
政策	01農業・水産業を振興する
施策	01農業の振興
事業実施期間	平成23年度～令和11年度
事業区分	①一般事務経費事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	土地改良法第91条第6項(市町負担)、土地改良法、不動産登記法

【事業概要】

現状と課題	雁戸井地区は用水路の老朽化が特に進んでおり、維持管理と水管理に多大な労力の負担を伴っている状況であるため事業を早期に完成させ、維持管理作業を軽減し農作業の省力化を図る必要がある。善念地区は法務局備付け図面と現地が相違しており分筆登記等で支障をきたしている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	ほ場整備の実施により水田の乾田化、農地の流動化を図り、中核農家の育成等に取り組む。また、汎用耕地化を図り、水稲単作の経営から複合経営による収益性の高い経営に転換する。善念地区は現状と法務局備付け地図を一致させる。
対象 ※誰、何に対して	雁戸井地区(八幡町上西条、中西条、下村地内) 受益者、受益面積71.9ha。善念地区内土地所有者。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	雁戸井地区は県営事業で区画整理54.3ha(整地工、農道、用水路、排水路等)及び用水路0.3kmの整備工事を実施する。善念地区は用地確定測量及び地図訂正、地積更正登記を実施する。

【コスト】

	令和3年度(決算見込)	
事業費合計	25,097千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	14,900千円
	その他特財	千円
	一般財源	10,197千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	06 農林水産業費
項	03 農地費
目	04 ほ場整備事業費
細目	005 ほ場整備事業

【コスト推移】

	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算見込)
事業費合計	40,083千円	20,670千円	25,097千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>予算の適正な執行により、雁戸井地区は令和6年度末の完了を目標に現状を維持して事業を実施する。また、善念地区は道路・水路で区切られた区画ごとに確定測量を行っており、引き続き年次計画に基づき事業を進めて行く。</p>

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	ほ場整備事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	農林水産課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
受益面積（基盤整備事業）	h a	71.9	71.9	71.9
確定測量対象面積（善念地区）	h a	21.68	21.68	21.68
地図訂正対象面積（善念地区）	h a	17.69	17.69	17.69

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
整備工事	%	100	100	100
確定測量面積	h a	21.68	21.68	21.68
地図訂正（地積含む）面積	h a	17.69	17.69	17.69
活動指標分析結果	雁戸井地区は県営事業により基盤整備工事を実施し、善念地区は確定測量業務を実施した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
事業進捗率（基盤整備事業）	%	56.7	66.3	76.4	令和6年度	100
事業進捗率（確定測量業務）	%	70.3	70.3	76.01	令和11年度	100
事業進捗率（地図訂正業務）	%	57.38	63.59	63.31	令和11年度	100
成果指標分析結果	雁戸井地区は令和6年度末が完了目標、善念地区は令和11年度末の完了を目標として事業を実施し、計画どおり進捗が図られている。					

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	老朽ため池等整備事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	03活力とにぎわいのあるまち
政策	01農業・水産業を振興する
施策	01農業の振興
事業実施期間	平成24年度～永年
事業区分	①一般事務経費事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	土地改良法、農村地域防災減災事業実施要綱、いなみ野ため池ミュージアム運営協議会規約

【事業概要】

現状と課題	近年は東日本大震災や台風による集中豪雨が発生するなど、甚大な自然災害が多発しており、ため池の防災安全度を劣化させる危険性がある。早期にため池の整備工事を完成させ、地域全体としての防災安全度の向上を図る必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	ため池に起因する災害の発生を未然に防止する。また、防災・減災の視点に立ち、地域住民全体がため池の維持・管理に関わることができる体制を構築する。
対象 ※誰、何に対して	市内既存ため池319箇所。市内ため池協議会29協議会。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	決壊時浸水区域内に家屋等があるため池の定期点検及び決壊被害規模の大きいため池の耐震診断及びハザードマップ作成業務を実施する。また、現地調査により耐震性に係る危険度の総合判定を行う。また、安全安心なため池づくりを県及び3市2町で連携し、市内ため池協議会29協議会を通じて実施する。また、ため池整備工事を県営事業で実施し、市・地元負担を軽減するよう事業を進める。

【コスト】

		令和3年度(決算見込)
事業費合計		39,604千円
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	23,673千円
	地方債	12,000千円
	その他特財	千円
	一般財源	3,931千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	06 農林水産業費
項	03 農地費
目	03 老朽ため池等整備事業費
細目	005 老朽ため池等整備事業

【コスト推移】

	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算見込)
事業費合計	60,100千円	69,476千円	39,604千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>ため池の整備工事は予算の適正な執行により、完了年度を目標に現状を維持して事業を実施する。また、ため池協議会は県及び3市2町で地域住民のコミュニティー形成に取り組んでおり、その効果は大きいと考える。ため池耐震診断・ハザードマップ作成業務、ため池定期点検業務では、ため池に起因する災害の未然防止、減災対策に役割を果たしている。</p>

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	老朽ため池等整備事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	農林水産課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
既存ため池	箇所	326	326	319
加古川市ため池協議会	協議会	29	29	29
県営ため池整備事業実施箇所	池	5	3	3

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
イベント活動	式	1	1	1
耐震診断業務	箇所	4	4	4
定期点検箇所	箇所	0	26	0
活動指標分析結果	ため池の維持管理業務を促進するため、市内29協議会に対してイベント活動支援を実施。耐震診断業務は市で対応できる規模として年4池を基本として実施している。定期点検は5年毎に実施するため皆減は妥当。本市の規模では、ため池整備工事の3池は妥当な件数である。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
耐震診断事業実施数(累計)	箇所	21	25	29	令和4年度	33
イベント活動回数	回	76	61	85	令和8年度	70
整備工事(ため池)	池	5	3	3	令和8年度	3
成果指標分析結果	耐震診断業務は計画どおり業務が進められている。また、イベント活動については前年度とほぼ同数であり支援の成果が出ている。ため池整備工事は、計画的に予算措置し、耐震対策等の整備を県営事業で順次進めている。					

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	多面的機能支払事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	03活力とにぎわいのあるまち
政策	01農業・水産を振興する
施策	01農業の振興
事業実施期間	平成19年度～永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	多面的機能支払交付金交付要綱

【事業概要】

現状と課題	農地・農業用水等の資源の保全管理、農地周りの農業用排水路等施設の老朽化への対応や集落機能の維持向上の観点から、より一層の地域主体による保全管理の取組強化が求められている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	地域共同による農地・農業用水等の資源の保全管理、また水路等農業用施設の保全管理と農村環境の保全向上を図る。
対象 ※誰、何に対して	市内の農業者及び農業者以外の者(自治会・婦人会・PTA等)を含めた活動組織。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	農家、非農家共同で行う農地・水路等農業用施設の日常管理、長寿命化に取り組む活動組織に対し、農業振興地域内の農用地(田、畑)の面積に応じて活動支援交付金を交付する。

【コスト】

	令和3年度(決算見込)	
事業費合計	85,225千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	63,860千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	21,365千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	06 農林水産業費
項	03 農地費
目	07 農村整備事業費
細目	020 多面的機能支払事業

【コスト推移】

	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算見込)
事業費合計	85,766千円	83,559千円	85,225千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>当事業により、農家・非農家共同で農村環境の改善、向上に取り組んでおり、その効果は大きいと考える。また、施設の老朽化による機能低下防止を目的としてメンテナンス活動を行っており、農業基盤の安定が図られる。</p>

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	多面的機能支払事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	農林水産課

【対象】

対象指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
対象地区	地区	66	66	65

【事業実績】

活動指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
共同活動対象農用地面積	h a	1,153.69	1,166.28	1,166.26
向上活動対象農用地面積	h a	757.2	846.48	905.76
活動指標分析結果	向上活動実施団体が1地区増となり対象農用地面積が1.5h aの増となっている。			

【事業成果】

成果指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目標値
農地・水保全管理支払交付金交付件数（共同活動）	地区	51	51	51	令和5年度	52
農地・水保全管理支払交付金交付件数（向上活動）	地区	37	37	38	令和5年度	40
成果指標分析結果	向上活動実施団体が1地区増となり、農業、農村の有する多面的機能の維持、発揮を図るための地域の共同活動が進んでいる。					

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	農地保全対策事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	03活力とにぎわいのあるまち
政策	01農業・水産業を振興する
施策	01農業の振興
事業実施期間	平成16年度～永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	遊休農地解消支援補助金交付要綱、農地復元整備事業補助金交付要綱

【事業概要】

現状と課題	本市農業の担い手は、集落営農組織や認定農業者等により、一定数の担い手がいるが、集落営農組織の構成員の高齢化に直面している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	遊休農地を解消・防止することで、農地の生産能力を維持し、良好な農村環境の形成を図る。
対象 ※誰、何に対して	農地の遊休化の未然防止や遊休農地の解消を図るための活動を行う市内の農業団体と集落営農組織、認定農業者及び認定新規就農者。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	農業団体等が景観形成作物(コスモス・そば等)や緑肥作物(れんげ等)を栽培するにあたり、種子代等の栽培に係る費用の一部を補助する。また、荒廃農地の解消を促進するため、耕作可能な農地状態への復元整備活動に係る費用の一部を補助する。

【コスト】

	令和3年度(決算見込)	
事業費合計	2,624千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	2,624千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	06 農林水産業費
項	01 農業費
目	03 農業振興費
細目	009 農地保全対策事業

【コスト推移】

	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算見込)
事業費合計	2,395千円	2,335千円	2,624千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>今後、農業者の高齢化・後継者不足に拍車がかかり、農地の遊休化が今以上に進むことが予想される中、市内の農業団体と集落営農組織が、自主的に地域のまとまりをもって農地の遊休化の未然防止や遊休農地の解消を図ることで、良好な農村環境の維持が期待できる。また、生産者と消費者の交流を深めるなどの取組みも行われており、地域農業について一般の市民が興味を持つきっかけ作りにも貢献している。</p>

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	農地保全対策事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	農林水産課

【対象】

対象指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
補助金交付対象団体数	団体	148	147	147

【事業実績】

活動指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動団体への補助金額	円	2,394,300	2,334,950	2,624,200
活動団体数	団体	65	64	56
活動指標分析結果	補助金額は同程度を維持しており、市内で一定規模の活動が継続されている。			

【事業成果】

成果指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目標値
遊休農地解消・発生防止面積	h a	160	153	156	令和8年度	185
成果指標分析結果	面積は年度ごとの作付計画等により変動するが、一定の水準を維持しており、妥当なものとする。					

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	未利用農地等活性化対策事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	03活力とにぎわいのあるまち
政策	01農業・水産業を振興する
施策	01農業の振興
事業実施期間	平成19年度～永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	農業者の高齢化・後継者不足は年々深刻なものとなり、耕作者不足により遊休化した農地が生産能力を失い、周辺環境に悪影響を及ぼす恐れがある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	市内の遊休農地を積極的に活用し、農地の保全や農業後継者の育成などの課題解決を図り、地域農業の活性化と発展を目指す。
対象 ※誰、何に対して	市内の遊休農地
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	遊休農地を活用し、特色ある農産物の作付けや加工等を試み、加古川産農産物のPRを進めている。また、市内の意欲ある農業者を育成するために「かこがわ育農塾」を開講している。また、育農塾の修了者や新規就農者等の担い手へ遊休農地の情報を提供するため農地情報バンクを設置している。さらに、都市部近郊の遊休農地を「市民農園」として、農作物栽培を希望する市民の利用を促進している。

【コスト】

	令和3年度(決算見込)	
事業費合計	14,000千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	14,000千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	06 農林水産業費
項	01 農業費
目	03 農業振興費
細目	009 農地保全対策事業

【コスト推移】

	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算見込)
事業費合計	14,000千円	14,000千円	14,000千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	新規就農者の育成や農作業の部分受託による農家への支援、新規栽培作物の開発などを通して、遊休農地の解消や意欲ある農業者の育成などの課題解決を図り、地域農業の活性化と発展を目指すことを目的とした事業であり、今後も必要不可欠な事業である。

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	未利用農地等活性化対策事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	農林水産課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
対象農地面積	h a	6.4	4.8	6

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
かこがわ育農塾修了者	人	39	30	53
市民農園管理数	件	14	14	11
農地情報バンク登録数	件	32	16	7
活動指標分析結果	かこがわ育農塾については、昨年度新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催中止となった春夏野菜入門コースの開催により、応募人数が増加している。農地情報バンクについては、農地中間管理事業を推奨している地区もあるため減少傾向だが、取組数拡大のために、制度の周知が引き続き必要と考える。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
遊休農地解消面積	h a	3.03	1.01	0.73	令和8年度	3.5
成果指標分析結果	遊休農地を解消した面積は減少している。遊休農地解消のために、制度の周知が引き続き必要と考える。					

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	有害鳥獣等対策事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	03活力とにぎわいのあるまち
政策	01農業・水産を振興する
施策	01農業の振興
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律等

【事業概要】

現状と課題	地元猟友会へ有害鳥獣駆除業務を委託するとともに、農家へ捕獲檻を貸出することにより農作物被害の防止に努めているが、依然として被害が発生している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	農作物に被害を与える特定外来生物、有害鳥獣を捕獲し生息数を減少させることで、農業者の生産意欲の低下を防ぎ、同時に動植物の生息環境の保全を図る。
対象 ※誰、何に対して	市民、主に市内農業者（有害鳥獣等捕獲業務）
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	有害鳥獣捕獲業務を地元猟友会に委託（有害鳥獣等捕獲業務）

【コスト】

		令和3年度（決算見込）
事業費合計		25,396 千円
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	146 千円
	地方債	千円
	その他特財	3 千円
	一般財源	15,342 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	06 農林水産業費
項	01 農業費
目	03 農業振興費
細目	008 有害鳥獣等対策事業

【コスト推移】

	令和元年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（決算見込）
事業費合計	4,405 千円	18,214 千円	25,396 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	特定外来生物の捕獲頭数は増加傾向にあり、さらにイノシシの被害地域も拡大傾向にあることから、今後も有害鳥獣等対策事業は継続して実施する必要がある。その一方で鳥獣を寄せ付けている餌資源（野菜残さ、放任果樹等）の縮減や防護柵の整備など、鳥獣を寄せ付けない地域づくりを推進する必要がある。なお、令和2年度から令和4年度にかけて、市単独事業にて侵入防護柵の設置地区の拡大・推進に努めているところであり、今後も事業実施に注力したい。

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	有害鳥獣等対策事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	農林水産課

【対象】

対象指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
農家世帯数	世帯	6,823	6,768	6,697

【事業実績】

活動指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
捕獲頭数（特定外来生物）	頭	623	642	695
捕獲頭数（イノシシ）	頭	263	345	289
活動指標分析結果	平成27年度より各地区にイノシシ用侵入防止柵の設置等を継続的に行った結果、イノシシの出没数が減少したことに伴い、捕獲頭数が減少した。一方で、地域における捕獲従事者を増員した結果、特定外来生物の捕獲頭数については増加している。			

【事業成果】

成果指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目標値
鳥獣被害相談件数	件	148	144	155	令和8年度	150
成果指標分析結果	被害報告については平成並みの件数が寄せられているものの、大幅な増加が生じていないことから、本事業の対策による一定の効果が得られていると考えられる。					

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	土地改良補助事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	03 活力とにぎわいのあるまち
政策	01 農業・水産を振興する
施策	01 農業の振興
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑦投資事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市土地改良事業補助金交付要綱、加古川市農業用排水機場災害対策事業補助金交付要綱

【事業概要】

現状と課題	近年、国内各地で集中豪雨や地震等の災害により、老朽化した土地改良施設が被災し、地域住民の生命や財産、公共施設にも甚大な被害が出ている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	事業費の一部を補助することにより、農業経営の合理化及び農業生産力の増強を図るとともに、地域の防災や環境の保全を図る。
対象 ※誰、何に対して	市内の土地改良区、水利組合、農業団体、町内会。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	土地改良施設の維持管理者より事業申請を受け、現地立会、事業内容、事業費の査定を行い、受理したものに対し事業の承認を行い、事業費の一部を補助金として交付する。補助金は事業費が400千円～3,000千円の場合は(事業費-400千円)×0.4となり、事業費が3,000千円を超えると上限である1,040千円の補助となる。

【コスト】

		令和3年度(決算見込)
事業費合計		13,398 千円
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	13,398 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	06 農林水産業費
項	03 農地費
目	01 農地総務費
細目	015 土地改良補助事業

【コスト推移】

	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算見込)
事業費合計	23,290 千円	14,464 千円	13,398 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	土地改良施設の適正な維持管理は、農業基盤の安定と共に施設の持つ水害等に対する防災機能の保全にも寄与している。近年の集中豪雨や大規模地震が予測されるなか、農業者だけでなく地域住民の安全安心な生活を確保するためにも、適正な維持管理は重要である。

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	土地改良補助事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	農林水産課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
水利組合	団体	144	144	144
土地改良区	団体	17	17	16

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
ため池改修工事数	件	8	2	6
水路改修工事数	件	8	6	5
農道改修工事数	件	1	1	2
活動指標分析結果	土地改良施設の老朽化が著しく、今後も農業経営の合理化及び農業生産力の増強を図るため補助事業を継続する必要がある。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
市単独土地改良補助事業実績件数	件	22	19	21	令和8年度	30
成果指標分析結果	前年度は大雨等の災害が発生しなかったが、実績件数が増加している。					

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	農業委員会事務委託事業	部局名	農業委員会事務局
		課(室)名	農業委員会事務局

【基本情報】

基本目標	03活力とにぎわいのあるまち
政策	01農業・水産業を振興する
施策	01農業の振興
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	農業委員会等に関する法律第6条第3項第2号

【事業概要】

現状と課題	農業者の高齢化、担い手不足、地域コミュニティの希薄化。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	市内の農家に「農委だより」を配布し、農業及び農業者に関する情報提供を行うことにより、地域の農業振興を図る。
対象 ※誰、何に対して	市民（主に農家）
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	地域の農業団体長を通じて、「農委だよりの配布業務（年3回）」を行う。

【コスト】

	令和3年度（決算見込）	
事業費合計	833 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	833 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	06 農林水産業費
項	01 農業費
目	01 農業委員会費
細目	005 農業委員会一般事務事業

【コスト推移】

	令和元年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（決算見込）
事業費合計	846 千円	840 千円	833 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	目的、社会情勢、コスト、手段等を総合的に判断すると、ここ数年は、現行の事業内容が妥当と判断する。

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	農業委員会事務委託事業	部局名	農業委員会事務局
		課(室)名	農業委員会事務局

【対象】

対象指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
農家戸数（水稲生産実施計画書及び営農計画書）	戸	6,753	6,604	6,513

【事業実績】

活動指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動数	回	453	453	450
活動指標分析結果	良好			

【事業成果】

成果指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目標値
情報提供率	%	100	100	100	令和8年度	100
成果指標分析結果	良好					

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	担い手育成支援事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	03活力とにぎわいのあるまち
政策	01農業・水産業を振興する
施策	01農業の振興
事業実施期間	平成24年度～永年
事業区分	⑥市施策事業(臨時)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	農業人材力強化総合支援事業実施要綱

【事業概要】

現状と課題	農業従事者の高齢化の進行、農家数が減少傾向の中、新規就農を促進することで、農業の担い手の育成を図り、安定した農業生産基盤を維持する必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	新規就農意欲の喚起と就農後の定着を図る。
対象 ※誰、何に対して	50歳未満の認定新規就農者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	経営の不安定な就農初期段階の青年就農者に対して年間最大150万円の資金を交付する。

【コスト】

	令和3年度(決算見込)	
事業費合計	9,000千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	9,000千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	06 農林水産業費
項	01 農業費
目	03 農業振興費
細目	005 農業振興事業

【コスト推移】

	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算見込)
事業費合計	3,750千円	6,750千円	9,000千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	持続可能な力強い農業の実現、生産基盤の維持のため、新規就農者の確保は不可欠である。本事業は、経営の不安定な就農初期段階の青年就農者に対して支援を行うもので、就農意欲の喚起と就農後の経営を安定させることに必要な施策である。

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	担い手育成支援事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	農林水産課

【対象】

対象指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
50歳未満の認定新規就農者数	人	1	3	3

【事業実績】

活動指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
補助金交付対象者数	人	3	5	6
補助金交付金額	円	3,750,000	6,750,000	0
補助金交付金額	千円	3,750	6,750	9,000
活動指標分析結果	交付要件に該当する者についての精査を行った結果であり、一定の成果を得ている。			

【事業成果】

成果指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目標値
認定新規就農者数（累計）	人	7	9	13	令和8年度	24
成果指標分析結果	認定新規就農者数は減少しておらず、一定の成果を得ている。					

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	担い手確保・経営強化支援事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	03活力とにぎわいのあるまち
政策	01農業・水産業を振興する
施策	01農業の振興
事業実施期間	令和3年度～
事業区分	⑥市施策事業（臨時）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	担い手確保・経営強化支援事業実施要綱

【事業概要】

現状と課題	総合的なTPP等関連政策大綱（令和2年12月8日TPP等総合対策本部決定）に即し、次世代を担う経営感覚に優れた担い手を育成し、力強く持続可能な生産構造を実現することが必要である。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	農産物の輸出の取組など意欲的な取組による付加価値額の拡大など経営発展に関する目標を定めてこの目標の達成に取り組む担い手を支援することにより、次世代を担う経営感覚に優れた担い手の育成・確保を図る。
対象 ※誰、何に対して	人・農地プランに基づき、農地中間管理機構を活用して農地の集積・集約化に取り組んでいる地域等において農業経営の発展を図ろうとする担い手
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	人・農地プランに基づき、農地中間管理機構を活用して農地の集積・集約化に取り組んでいる地域等において農業経営の発展を図ろうとする担い手が、融資を活用するなどして農業機械・施設を導入する際に補助金を交付することにより、主体的な経営発展を支援する。

【コスト】

	令和3年度（決算見込）	
事業費合計	0千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	06 農林水産業費
項	01 農業費
目	03 農業振興費
細目	005 農業振興事業

【コスト推移】

	令和元年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（決算見込）
事業費合計	0千円	0千円	0千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	担い手の育成・確保の取組と農地の集積・集約化の取組を一体的かつ積極的に推進する地域において、付加価値額の拡大などの経営発展に意欲的に取り組む地域の担い手が、融資を活用するなどして機械等の導入することに対して経費の一部を支援を行うもので、担い手の経営を安定させることに必要な施策である。

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	担い手確保・経営強化支援事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	農林水産課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
取組者数	人	0	0	0

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
補助金交付金額	千円	0	0	0
活動指標分析結果	国の令和3年度補正による事業であり、令和4年度へ繰り越した事業のため実際の申請年度は令和4年度である。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
導入施設・機械件数 (累積)	件	0	0	0	令和8年度	1
成果指標分析結果	国の令和3年度補正による事業であり、令和4年度へ繰り越した事業のため実際の申請年度は令和4年度である。					

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	農業経営スマート化促進事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	03活力とにぎわいのあるまち
政策	01農業・水産業を振興する
施策	01農業の振興
事業実施期間	令和3年度～
事業区分	⑥市施策事業（臨時）
地区別	その他
関連根拠法令等	農業経営スマート化促進事業補助金交付要綱

【事業概要】

現状と課題	農業の従事者不足において所得を向上させるためには省力化、高品質化が必要である。また担い手不足の環境下において農業法人の経営基盤の強化等が重要である。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	農業経営の安定化を図る。
対象 ※誰、何に対して	経営の多角化・高度化に取り組む法人等。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	経営の発展段階に応じ、経営の多角化・高度化に必要なスマート農業機械の導入や、法人運営に必要な経営、労務管理、販売管理等の知見を有する人材雇用の費用に対して補助を行う。

【コスト】

	令和3年度（決算見込）	
事業費合計	1,941千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	1,941千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	06 農林水産業費
項	01 農業費
目	03 農業振興費
細目	005 農業振興事業

【コスト推移】

	令和元年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（決算見込）
事業費合計	0千円	0千円	1,941千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>持続可能な力強い農業の実現、生産基盤の維持のため、担い手の経営発展は不可欠である。本事業は、経営の発展段階に応じ、経営の多角化・高度化に必要なスマート農業機械の導入経費や法人運営に必要な知見を有する人材雇用の支援を行うもので、経営を安定させることに必要な施策である。</p>

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	農業経営スマート化促進事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	農林水産課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
取組者数	人	0	0	1

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
補助金交付金額	円	0	0	1,941,000
活動指標分析結果	令和3年度は1団体に対して農業用機械の購入費用及び法人運営に必要な知見を有する人材雇用に対する費用の一部補助を行った。補助団体は機械導入による経営規模の拡大や組織発展へ向けた取組を行っており経営発展へつながっている。今後も経営発展を目指す対象者の掘り起こし等の継続が必要と考えられる。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
実施事業件数(累積)	件	0	0	2	令和8年度	4
成果指標分析結果	補助事業の活用により法人運営に必要な知見を有する人材の確保ができています。導入した機械は令和4年度から利用予定のため、機械の導入による経営規模の拡大が期待される。					

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	農地集積対策事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	03活力とにぎわいのあるまち
政策	01農業・水産業を振興する
施策	01農業の振興
事業実施期間	平成26年度～永年
事業区分	⑥市施策事業（臨時）
地区別	その他
関連根拠法令等	農地集積・集約化対策事業実施要綱、農地集積協力金交付要綱

【事業概要】

現状と課題	点在農地を担い手が耕作する現状は解消されていないと思われる。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	担い手への農地の集積・集約化を促進する。
対象 ※誰、何に対して	経営転換を図る農地所有者または地域内の一定割合以上の農地を集積する地域。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	農地中間管理機構を利用した農地の担い手への集積・集約化の推進について、機構に対し農地を貸し付けた個人及び地域へ農地集積協力金を交付する。

【コスト】

	令和3年度（決算見込）	
事業費合計	5,570千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	5,570千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	06 農林水産業費
項	01 農業費
目	03 農業振興費
細目	005 農業振興事業

【コスト推移】

	令和元年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（決算見込）
事業費合計	4,634千円	6,066千円	5,570千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	要望のある集落の農業者を対象に人・農地プラン制度の説明を行い、担い手への農地集積を推進していく。

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	農地集積対策事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	農林水産課

【対象】

対象指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
農業振興地域内の農地	h a	2,472	2,462	2,462

【事業実績】

活動指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
地域集積協力金交付金額	円	3,233,000	4,826,600	0
地域集積協力金交付金額	千円	3,233	4,827	4,172
経営転換協力金交付金額	円	1,401,000	1,239,000	1,398,000
活動指標分析結果	志方町行常地区を含む5地区で、実質化された人・農地プランが実行されたことにより、農地中間管理機構への農地の集積が進み、交付金額が大幅に増加した前年度並みの交付額の交付に繋がった。			

【事業成果】

成果指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目標値
集積農地面積	m ²	1,472,091	1,715,520	1,970,993	令和8年度	2,230,193
中間管理機構への集積率	%	6	6.9	8	令和8年度	9.1
成果指標分析結果	志方町行常東地区を含む5地区で、実質化された人・農地プランが実行されたことにより、農地中間管理機構への農地の集積が進み、集積農地面積及び中間管理機構への集積率の増加へ繋がった。					

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	しろやま農業研修センター管理運営事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	03活力とにぎわいのあるまち
政策	01農業・水産業を振興する
施策	01農業の振興
事業実施期間	昭和58年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	志方地区
関連根拠法令等	加古川市立しろやま農業研修センターの設置及び管理に関する条例

【事業概要】

現状と課題	施設利用者は高齢者層が多く、若い世代の利用が少ない状況である。また、施設の劣化による緊急性及び必要性の高い、防水・空調設備等の改修については、令和4年度からアスベスト調査及び改修設計を実施している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	農業者その他地域住民の生活改善及び健康増進を図る。
対象 ※誰、何に対して	市民(主に志方東地区)
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	貸館業務を行う。

【コスト】

		令和3年度(決算見込)
事業費合計		7,607千円
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	823千円
	一般財源	6,784千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	06 農林水産業費
項	01 農業費
目	02 農業総務費
細目	025 しろやま農業研修センター管理運営事業

【コスト推移】

	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算見込)
事業費合計	7,208千円	7,407千円	7,607千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	地域住民が会議やサークル活動などに利用しており、住民相互の交流や健康増進、さらに農村機能の活性化等に効果がある。

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	しろやま農業研修センター管理 運営事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	農林水産課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
市民	人	262,308	261,041	259,603

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
開館日数	日	328	304	342
事業実施回数（指定管理者）	回	2	2	2
活動指標分析結果	最大開館日数の359日と比べて開館日数は17日減少している（新型コロナウイルス感染症の影響のため）。また、事業は前年度と同数を実施している。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
施設利用者数	人	18,617	9,799	12,083	令和7年度	20,000
施設利用者等の満足度	%	65	57	71	令和7年度	81
成果指標分析結果	利用者数は前年度より約2,000人増加している（開館日の増加による）。また、満足度は前年度より14ポイント増加している。					

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	見土呂フルーツパーク管理運営事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	03活力とにぎわいのあるまち
政策	01農業・水産業を振興する
施策	01農業の振興
事業実施期間	平成11年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市見土呂フルーツパークの設置及び管理に関する条例

【事業概要】

現状と課題	自然とのふれあいを通じた安心・安全な農業に対する関心が高い都市住民のニーズに応えるべく、自然環境に恵まれた地域を有効に活用し、農業体験の場等の提供を行っている。課題としては、施設の老朽化が挙げられ、再整備の中で解決していく想定である。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	都市と農村の交流を図り、農業の振興と地域の活性化に寄与する。
対象 ※誰、何に対して	市民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	熱帯植物の観察ができる温室(クリスタルアーチ)の運営や農業体験、果実加工教室等様々なイベントを実施し、四季を通じて農業と豊かな自然に親しむ空間を提供する。

【コスト】

	令和3年度(決算見込)	
事業費合計	45,123千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	3,800千円
	その他特財	333千円
	一般財源	40,990千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	06 農林水産業費
項	01 農業費
目	03 農業振興費
細目	015 見土呂フルーツパーク管理運営事業

【コスト推移】

	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算見込)
事業費合計	41,046千円	47,551千円	45,123千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	開園後20年が経過し、施設の老朽化や利用状況が減少傾向にあることから、施設の活性化について民間事業者のアイデアやノウハウを積極的に取り入れ、ニーズを的確に捉えつつ、再整備に向けた取り組みを進めていく。

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	見土呂フルーツパーク管理運営事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	農林水産課

【対象】

対象指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
市民	人	262,308	261,041	259,603

【事業実績】

活動指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
開館日数	日	341	315	342
事業実施回数(指定管理者)	回	19	10	5
活動指標分析結果	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため17日間温室(クリスタルアーチ)等の施設を休止したが、昨年度の44日間の施設の休止と比較し、開館日数が増加している。事業実施回数については、新型コロナウイルス感染症の影響及び、令和3年10月16日から令和4年3月31日の急遽の直営に伴い、前年度より5事業減少している。			

【事業成果】

成果指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目標値
施設利用者数	人	117,572	95,785	86,159	令和18年度	200,000
成果指標分析結果	前年度より約9,600人減(新型コロナウイルス感染症の影響及び、令和3年10月16日から令和4年3月31日の急遽の直営の影響による)					

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	農村環境改善センター管理運営事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	03活力とにぎわいのあるまち
政策	01農業・水産業を振興する
施策	01農業の振興
事業実施期間	平成2年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	その他
関連根拠法令等	加古川市立農村環境改善センターの設置及び管理に関する条例

【事業概要】

現状と課題	特に農村住民のスポーツ及び文化活動等コミュニティ施設として活用されている。また、施設の老朽化により、修繕を見込む箇所が散見される。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	農業者及び地域住民の生活改善及び健康増進を図る。
対象 ※誰、何に対して	市民(主に八幡町と上荘町の一部)
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	貸館業務を行う。

【コスト】

		令和3年度(決算見込)
事業費合計		8,049千円
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	2,149千円
	一般財源	5,900千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	06 農林水産業費
項	01 農業費
目	02 農業総務費
細目	030 農村環境改善センター管理運営事業

【コスト推移】

	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算見込)
事業費合計	8,348千円	6,571千円	8,049千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	地域に生活する人々の生活改善・合理化や健康増進の拠点となっている施設で、地域農村コミュニティの形成を図るためにも必要な施設である。

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	農村環境改善センター管理運営事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	農林水産課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
市民	人	262,308	261,041	259,603

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
開館日数	日	328	307	342
事業実施回数（指定管理者）	回	2	2	2
活動指標分析結果	最大開館日数の359日と比べて開館日数は17日減少している（新型コロナウイルス感染症の影響のため）。また、事業は前年度と同数を実施している。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
施設利用者数	人	24,257	17,488	24,782	令和7年度	26,000
施設利用者等の満足度	%	61	57	64	令和7年度	65
成果指標分析結果	利用者数は前年度より約7,300人増加している（開館日の増加による）。また、満足度は前年度より7ポイント増加している。					

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	加古川市農林漁業祭事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	03活力とにぎわいのあるまち
政策	01農業・水産業を振興する
施策	01農業の振興
事業実施期間	昭和50年度～永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	その他
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	米を除き、軟弱野菜を含めた野菜は外国産も多数流通し、安価なものが手に入る反面、安全性について消費者は不安を抱えている。このような中、消費者の意識は価格だけでなく安全性を重視する傾向に少しずつ変化している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	安心安全なかこがわ産の農畜水産物の普及と地産地消等により消費拡大を図る。
対象 ※誰、何に対して	市内の農畜水産業者(加工者含む)及び市民・都市住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	実行委員会に負担金を支出し、実行委員会で次の事業を開催している。○農作物品評会○農畜水産物及び農産加工品販売○農水産業関係イベント及び体験会○地産地消メニューの料理教室ほか。

【コスト】

	令和3年度(決算見込)	
事業費合計	0千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	06 農林水産業費
項	01 農業費
目	02 農業総務費
細目	010 加古川市農林漁業祭事業

【コスト推移】

	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算見込)
事業費合計	800千円	0千円	0千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>市と農業団体等と一緒に主催する唯一の農業関係イベントであり、歴史的にも定着しており市民の認知度も高い。令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため共催事業のみの実施となったが、農業者の切磋琢磨の機会となっていること、地元農畜産物のPR効果、都市住民との交流が深まっていることから、今後も継続実施が妥当である。</p>

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	加古川市農林漁業祭事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	農林水産課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
加古川市人口（10／1付推計人口）	人	262,308	261,041	259,603

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実施行事（事業）数	事業	38	0	16
活動指標分析結果	令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全面的に事業を中止していたが、令和3年度は感染拡大防止に配慮しながら、加古川市農林漁業祭実行委員会の繰越金の範囲内の予算にて共催事業のみを実施した。そのため、実施事業数が皆増している。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
集客数	人	229,769	0	10,331	令和4年度	250,000
成果指標分析結果	令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全面的に事業を中止していたが、令和3年度は感染拡大防止に配慮しながら、加古川市農林漁業祭実行委員会の繰越金の範囲内の予算にて共催事業のみを実施した。そのため、集客数が皆増している。					

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	環境保全型農業支援事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	03活力とにぎわいのあるまち
政策	01農業・水産業を振興する
施策	01農業の振興
事業実施期間	平成24年度～永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	環境保全型農業直接支払事業補助金交付要綱、土づくり事業補助金交付要綱

【事業概要】

現状と課題	一部の法人団体については減農薬農作物のブランド化にも取り組んでおり、事業実施効果が見受けられる。環境保全型農業直接支払事業については、交付要件が厳しく、取組団体の拡大が難しい。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	農業の持つ物質循環機能を生かし、生産性との調和などに留意しつつ、土づくり等を通じて化学肥料、農薬の使用等による環境負荷の軽減に配慮した持続的な農業の活性化を図る。
対象 ※誰、何に対して	【環境保全型農業直接支払事業補助金】市内農業者団体又は複数の農業者で構成される法人のうち、GAP認証を取得又はGAPの取組を実施している者。 【土づくり事業補助金】畜産農家のふん尿堆肥を地力増進のため使用する集落営農組合等。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	【環境保全型農業直接支払事業補助金】化学肥料及び化学合成農薬の使用を、地域の慣行から原則として5割以上低減する活動と、カバークロップの作付けあるいは炭素貯留効果の高い堆肥の水質保全に資する施用を組み合わせた取組を実施した事業対象者について、国1/2、県、市ともに1/4の補助率で補助金を交付する。【土づくり事業補助金】畜産農家のふん尿堆肥を利用する集落営農組合等に対して、一定金額を補助。

【コスト】

	令和3年度（決算見込）	
事業費合計	4,317千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	3,071千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	1,246千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	06 農林水産業費
項	01 農業費
目	03 農業振興費
細目	005 農業振興事業

【コスト推移】

	令和元年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（決算見込）
事業費合計	4,289千円	3,716千円	4,317千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	環境保全型農業直接支払事業実施面積は増加傾向にあり、環境への負荷の低減について、また安心安全な農作物の栽培について関心が高まっているものと考えられる。

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	環境保全型農業支援事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	農林水産課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
農業振興地域内の農地	h a	2,472	2,462	2,462

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業実施面積（環境保全型農業直接支払事業）	h a	58.4	62	71.8
取組団体数（環境保全型農業直接支払事業）	団体	7	6	6
事業実施面積（土づくり事業）	h a	7.6	18.3	18.5
活動指標分析結果	取組み面積が増加傾向にあり、今後も制度の活用団体拡充に努める。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
事業実施面積の割合（環境保全型農業直接支払事業）	%	2.4	2.5	2.9	令和8年度	3.9
成果指標分析結果	取組み面積は増加傾向にあり、妥当なものとする。					

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	地産地消推進事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	03活力とにぎわいのあるまち
政策	01農業・水産業を振興する
施策	01農業の振興
事業実施期間	平成29年度～永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	小学生、中学生の加古川産食材についての認知度は低い。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	市内の児童に地元産食材の魅力を広く周知するとともに、地元産食材に関する知識について理解を深めるため。
対象 ※誰、何に対して	【かこがわ食材学習支援事業】加古川市内の小学校の児童（5・6年生）。 【加古川市地元産食材給食推進事業】加古川市内の小学校・中学校・養護学校の生徒・児童。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	【かこがわ食材学習支援事業】調理実習で加古川産食材を使用した場合の食材の確保と、事前に生産者等が実施する食育に関する授業に要する経費について市が負担する。 【加古川市地元産食材給食推進事業】加古川市地元産食材を学校給食で使用してもらうために、通常使用食材との価格差を市が補てんする。

【コスト】

	令和3年度（決算見込）	
事業費合計	1,903千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	1,903千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	06 農林水産業費
項	01 農業費
目	03 農業振興費
細目	005 農業振興事業

【コスト推移】

	令和元年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（決算見込）
事業費合計	1,470千円	1,443千円	1,903千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	例年一定数の小学校が取り組んでおり、実施校にも好評なため引き続き事業の推進に努める。

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	地産地消推進事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	農林水産課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
市内対象児童数【かがわ食材学習支援事業】	人	4,739	4,704	4,675
市内対象児童・生徒数【加古川市地元産食材給食推進事業】	人	21,428	21,162	20,828

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業実施校数【かがわ食材学習支援事業】	校	12	12	14
事業実施児童数【かがわ食材学習支援事業】	人	1,113	911	1,207
地元産食材の使用量【加古川市地元産食材給食推進事業】	k g	13,802	14,615	20,586
活動指標分析結果	一定数の小学校、中学校が取り組んでいる。今後も事業実施のメリットの周知を強化し、新規の取組校数を増やす。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
事業を実施した児童割合【かがわ食材学習支援事業】	%	23.6	19	25	令和8年度	45
地元産食材の1人当たりの消費量【加古川市地元産食材給食推進事業】	k g	0.6	0.7	0.9	令和8年度	1
成果指標分析結果	事業実施校には好評であったため、継続した事業推進に努める。					

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	畜産振興事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	03活力とにぎわいのあるまち
政策	01農業・水産業を振興する
施策	01農業の振興
事業実施期間	平成15年度～永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	畜産農家数は現状維持であるが、一部の農家で高齢化が進んでいる。加古川和牛については、令和元年に開催された第6回全国但馬牛枝肉共進会において最高賞となる「名誉賞」を受賞しており、市内畜産農家の肥育技術の向上が見られる。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	牛枝肉共励会を開催し、畜産農家の肉用牛生産の振興と肥育技術の確立及び枝肉の肉質向上を図ることにより食肉の安定供給に資することを目的としている。また、畜産農家が安心して畜産業を営み、また畜産業が活気付くための取り組みを行い、畜産農家戸数及び飼養家畜頭数の維持・拡大を図る。
対象 ※誰、何に対して	市内畜産農家
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	牛枝肉共励会を開催し、畜産農家の肉用牛生産の振興と肥育技術の確立及び枝肉の肉質向上を図る。また、加古川和牛流通推進協議会に対して負担金を負担し、加古川和牛のブランド化を進める。

【コスト】

	令和3年度（決算見込）	
事業費合計	433千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	433千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	06 農林水産業費
項	02 畜産業費
目	01 畜産業振興費
細目	005 畜産振興事業

【コスト推移】

	令和元年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（決算見込）
事業費合計	383千円	437千円	433千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>共励会の開催及び地域ブランドの確立は生産意欲につながっていると考えるが、依然畜産業を取り巻く環境は厳しいものがあり、今後もより効果的な方法を考える必要がある。</p>

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	畜産振興事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	農林水産課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
市内畜産農家	戸	20	21	21

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
加古川市主催の共励会開催回数	回	1	1	1
加古川和牛流通推進協議会負担金額	円	200,000	200,000	200,000
活動指標分析結果	共励会では畜産農家の生産技術水準の向上を奨励するとともに、購買者への広報の場となっている。加古川和牛流通推進協議会においては、各種イベントで加古川和牛の宣伝に努めている。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
市内畜産農家	戸	20	21	21	令和8年度	21
加古川和牛取扱加盟店舗数	店	14	14	17	令和8年度	17
成果指標分析結果	アメリカ産牛肉の関税引き下げによる輸入量増や新型コロナウイルス対策によるインバウンド需要の低下など、畜産業を取り巻く環境は厳しいものとなっている。また、加古川市内の農家戸数は昨年同数ではあるが、高齢化等の要因から減少傾向であるため、畜産業が活気づくためのより一層の取組を行う必要がある。					

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	加古川パスタ普及促進事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	03活力とにぎわいのあるまち
政策	01農業・水産業を振興する
施策	01農業の振興
事業実施期間	令和元年度～永年
事業区分	⑥市施策事業（臨時）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川パスタ普及促進事業補助金交付要綱

【事業概要】

現状と課題	「加古川パスタ」は、他地域に先駆けた先進的な取り組みであり、原料であるデュラム小麦の作付面積も年々増加しているが、市内での認知度は高くない。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	地域の特産品である加古川パスタの普及促進を図る。
対象 ※誰、何に対して	加古川パスタの普及促進を図る活動をした団体
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	八幡町地区で栽培する日本初のデュラム小麦新品種「セトデュール」を使用した地元産「加古川パスタ」の普及啓発を図る活動に要する経費の一部を補助する。

【コスト】

	令和3年度（決算見込）	
事業費合計	21千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	21千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	06 農林水産業費
項	01 農業費
目	03 農業振興費
細目	005 農業振興事業

【コスト推移】

	令和元年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（決算見込）
事業費合計	86千円	167千円	21千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	市内、市外を問わず、多角的なアプローチで認知度の向上に努めることが必要である。

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	加古川パスタ普及促進事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	農林水産課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
補助事業を活用した団体数	団体	1	1	1

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
補助金交付金額	円	86,446	166,832	20,800
活動指標分析結果	令和3年度は希望のあった保育園・こども園の給食用に加古川パスタを無償提供することで、家庭に向けて普及する活動に対して補助を行った。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
PR活動の件数	件	1	1	1	令和8年度	1
普及活動でパスタに関心を持った人数(累積)	人	0	0	270	令和8年度	1,800
成果指標分析結果	園児を介した普及活動により、関心を持たせることができた。					

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	見土呂フルーツパーク再整備事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	03活力とにぎわいのあるまち
政策	01農業・水産業を振興する
施策	01農業の振興
事業実施期間	～
事業区分	⑦投資事業
地区別	加古川北地区
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	昨今の原材料価格の高騰など、事業を進めるにあたっての不確定要素が増している。事業を安定的に遂行できる能力のある事業者の選定が重要となる。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	見土呂フルーツパークを再整備することにより、市の観光拠点としてにぎわいを創出し、地域の活性化に繋げる。
対象 ※誰、何に対して	加古川市見土呂フルーツパーク
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	観光施設としての側面を十分に活かし、市の観光拠点としての賑わいを創出し、地域の活性化に繋げるため、施設のハード面の整備を行う。

【コスト】

	令和3年度(決算見込)	
事業費合計	0千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	06 農林水産業費
項	01 農業費
目	03 農業振興費
細目	020 見土呂フルーツパーク再整備事業

【コスト推移】

	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算見込)
事業費合計	0千円	0千円	0千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	令和6年度のグランドオープンにむけてハード整備を進めていく。再整備にかかる費用は大きいですが、過疎化が進む北部地域での賑わい創出や今後の観光拠点としての役割を考慮すると、現時点における必要な投資的的事业である。

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	見土呂フルーツパーク再整備事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	農林水産課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
工事発注件数	件	0	0	0

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
工事の進捗率	%	0	0	0
活動指標分析結果	令和3年度に選定した優先交渉権者は参加資格要件を満たしていないことが判明し、令和3年度に優先交渉権者決定の取消を行った。次点候補者との事業実施における調整についても、協議が整わなかったことから、令和3年度における工事の進捗率は0%となった。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
事業進捗率	%	0	0	0	令和6年度	100
成果指標分析結果	令和3年度に選定した優先交渉権者は参加資格要件を満たしていないことが判明し、令和3年度に優先交渉権者決定の取消を行ったことなどから、改めて令和4年1月から事業者の公募を開始した。令和3年度は基本設計を実施する予定であったが、スケジュールに遅延が生じ、令和4年度に基本設計及び実施設計を行う予定である。					

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	見土呂フルーツパーク災害復旧事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	03活力とにぎわいのあるまち
政策	01農業・水産業を振興する
施策	01農業の振興
事業実施期間	令和2年度～令和3年度
事業区分	⑦投資事業
地区別	その他
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	見土呂フルーツパークの観光農園は、多くの利用者があり、早急に被害箇所の修繕を行わない場合、市民に不便を生じさせるとともに、施設の運営にも影響を及ぼすこととなる。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	修繕することにより、見土呂フルーツパークの利用者の安全を確保する。
対象 ※誰、何に対して	豪雨等災害により、見土呂フルーツパーク内で被害があった箇所。令和2年度は、7月豪雨により土砂が崩れた観光農園法面。令和3年度は、7月豪雨により土砂が崩れたりんご園法面及び園路。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	崩落した土砂を撤去し、復旧工事を行う。

【コスト】

	令和3年度(決算見込)	
事業費合計	3,920千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	3,900千円
	その他特財	千円
	一般財源	20千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	11 災害復旧費
項	04 その他の公共施設等災害復旧費
目	04 その他の公共施設等災害復旧費
細目	005 見土呂フルーツパーク災害復旧事業

【コスト推移】

	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算見込)
事業費合計	0千円	3,339千円	3,920千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 完了 令和3年度で令和3年7月豪雨による被害に係る修繕は完了した。

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	見土呂フルーツパーク災害復旧事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	農林水産課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
被災施設件数	件	0	1	1

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
修繕実施件数	件	0	1	1
活動指標分析結果	平成30年度、令和2年度、令和3年度に一件ずつの実施。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
進捗率	%	0	100	100	令和3年度	100
成果指標分析結果	平成30年度、令和2年度、令和3年度について、各年度内で修繕完了。					